

ポリボンド

【禁忌・禁止】

- 本品は可燃性が高く有害なため接触又は吸入しないこと。【目や皮膚への刺激、眠気、めまいを引き起こす可能性がある。】
- 本品の成分にアレルギーを有する患者には使用しないこと。【疑わしい場合はアレルギー検査を行なうこと。】

【形状・構造及び原理等】

【形状】

本品は1液型で無色透明の接着材である。ガラス製の容器とポリプロピレン製の蓋に30mLを収める。

Item number	CPAD0101
容量	30 mL

主たる原材料
ジクロロメタン、ニトロメタン

【原理】

本品は1液型の性状であり、本品をPMMA（ポリメチルメタクリレート）で作製した義歯及び義歯床の接着面に塗布すると、本品に含まれた有機溶媒が義歯及び義歯床の表面を溶解し接着を促す。

【使用目的又は効果】

義歯床の作製、補修及び裏装において義歯床へのレジンの接着に用いる。

【使用方法等】

接着の方法（PMMA（ポリメチルメタクリレート）のみに適用）

- 接着する義歯床の歯槽部（凹部）に本品を塗布する。歯槽の底部は十分に覆われている必要がある。歯槽の表面全体（エッジを含む）に筆を使用して本品を塗布する。
筆の代わりに、ピストンピペットを使用して歯槽に本品を適用することもできます。これにより、使用量をより正確に決定でき、手順の再現性が向上します。この手順では、歯槽あたり30 μ lの量が推奨される。
- 多く塗布してしまった場合、歯槽から本品が漏れ出し、隣接する歯がくっついてしまうことがある。そのため、余分な本品は筆ですぐに取り除くこと。
- 義歯の接着面に筆を使用して本品を塗布する。
- 義歯を、正しい方向に手で義歯床の歯槽部分に軽く押し込む。
- 30秒ほど休ませてから、義歯をもう一度軽く押す。
- 本品の粘着剤が十分に塗布されていない部分がある場合は、その部分に再度本品を塗布する。（粘着面に隙間が残らないように注意する。）
粘着剤を塗りすぎた部分がある場合は、すぐに筆で除去する。
- すべての義歯が義歯床に接着されるまで、この手順を繰り返す。
- 接着した義歯を、グリセリンを入れた加圧ポットに入れて、50℃、4barで25～40分間加熱する。
- 通常どおりに義歯を研磨し、仕上げる。
- 完成した義歯（義歯／義歯と義歯床）は、均一に研磨され、曇りが無く光沢を有している必要がある。また、接合部が密封されている必要がある。

【使用上の注意】

- 作業時には保護手袋とゴーグルを着用すること。
- 揮発蒸気の吸入を避けること。

- 使用しないときは容器を密閉し、換気の良い場所に保管すること。
- 硬化していない製品に触れたり、飲み込んだりした場合、または全身に不快感を感じずる場合は、医師の手当てを受けること。

【保管方法及び有効期間等】

本品は0～25℃で保管すること。開封後は冷蔵庫に保管すること。
直射日光から保護すること。
有効期間はラベルに記載（製造後2年）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：トーシンデンタル株式会社
住所：神奈川県川崎市幸区北加瀬2-5-12
電話番号：044-201-6171
製造業者：Zirkonzahn srl
製造国名：イタリア